

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○学校教育目標の実現を目指して、活力と魅力にあふれた学校づくりをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力向上を目指します。</li> <li>・人間関係のつくり方を学ぶことを通して、個々の違いを認めるとともに学び合う風土づくりを行います。</li> <li>・保護者、地域との連携、協働の中で、豊かな心を育てます。</li> <li>・健康教育と食育の充実を図り、健康でたくましい体を育てます。</li> <li>・教職員が相互に啓発、連携する活気にあふれた学校運営を行います。また学校として組織対応を行い、子どもを育てます。</li> </ul>	

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
生きてはたらく知	校内研究の成果を生かし、仲間と関わり合いながら豊かに学べる子の育成と、基礎的学力の向上を目指す。	①身につけさせたい力と評価規準を明確にし、子ども同士の学び合いを重視した主体的な学習を創造していく。 ②重点研究で視聴覚を取り上げ、子ども同士がかかわり合いながら問題解決をしていく過程で、思考力・表現力を伸ばしていけるようにする。
担当	研究部	

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

平成29年度 学力

平成30年度 学力

令和元年度 学力

生活意識 学習意識

(1) 学力の概要と要因の分析  
横浜市全体の各教科の通過率の集計結果をみると、横浜市の平均を越えていない学年もある。継続的な指導の成果が表れ、学力とともに意識も高まっている学年もあるが、学年によるばらつきを解消するには、学校全体としての系統的な学力向上のための取組の必要性あると考えられる。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：どの観点も平均的だが、自分の考えや事柄を話したり、聞いたり、書いたりする力は課題
- 算数科：学年によって多少ばらつきはあるものの知識・理解、技能に比べ、数学的思考の観点で課題
- 社会科：他の観点に比べ、資料の読み取りなど技能の観点において課題
- 理科：全般的に市の平均的な力をもっているが、やや知識・理解、技能に課題

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）  
学年による違いについては、昨年度とあまり変わらず、学年によって大きなばらつきがみられる。細かく見ると、学習意欲、生活意識に関しては上昇の傾向がある学年が多いが、下降傾向にある学年も見られる。しかし、基本的な知識が身につけていても、自分の思いを表現する力、考える力、判断する力に、つなげていくには、まだまだ課題が多い。そうした力を伸ばす授業作り、組織作りを目指したい。

## 4 令和3年度 目標と具体的方策

令和3年度 目標  
互いに認め合う、豊かな人間関係の育成を目指して  
～対話的な授業を通して、生き生きと、学び合う子の育成～

### (1) 学校組織としての共通の取組

- **言語活動の充実**  
授業の中に言語活動（説明、報告、記録、対話、討論など）を組み入れ、自分の考えを表現、交流できる授業を行う。読書活動の充実による言語の獲得と、情操や学習への意欲の育成。
- **学習の基礎基本の定着**  
朝の荏田っ子タイム（15分間）を活用した、学習の補充と定着。
- **特別支援教育の充実**  
特別な教育的支援が必要な児童がいる学級に対する授業力、指導力の向上。研修。非常勤講師との連携。
- **研修・研究会の時間の確保と内容の充実**  
学力の幅のある状況において安定した授業のできる授業力の向上（習得を核としながら活用する力の育成）。会議の統合や廃止、時間割や会議等の精選による研究・研修時間の確保。

### (2) 学年・教科等としての取組

### ○ICT機器を活用した対話的な授業の研究

#### 1 学年

- 各教科等で、説明する文章、紹介する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、できる限り対話する場面を位置付ける。
- 分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり、気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話する。

#### 2 学年

- 生活科等で、体験を通して自分ごととして生活について考えられるよう報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに話合いをする場面を位置付ける。
- 大事だと思った点を確認めたり、感想を伝えたりしながら話し合う。

#### 3 学年

- 社会科等で、見学・調査したことを説明する文章、記録する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話合いをする場面を位置付ける。
- 理由や根拠を尋ねたり、まとめたり補足しながら話し合う。

#### 4 学年

- 算数・理科等で説明する文章、記録、報告する文章を書くなど、表現活動を大切にすると共に、話合いをする場面を位置付ける。
- 反対意見を出したり、相手の考えを取り入れ自分の考えを述べたりしながら話し合う。
- 順序付けたり、関連付けたりしながら話し合う。

#### 5 学年

- 総合的な学習の時間等で説明する文章、意見を述べる文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話合いをする場面を位置付ける。
- 相手の話を一般化したり、経験を加えて拡張したりしながら話し合う。
- 関連付けたり、分類・整理したりして考える学習と振り返りを行う。

#### 6 学年

- 教科等の学習で今まで身に付けた様々な文章を書く力を自覚的に生かすことができるようにするとともに、話合いをする場面を位置付ける。
- 曖昧な点を明確にしたり、違った視点を打ち出したりしながら話し合う。
- 関連付けたり、分類・整理したり多面的に考えたりする学習と振り返りを行う。

#### 個別支援学級

- 個別の計画に基づき、発達段階に応じたコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設ける。
- 発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な活動を行う。
- 個に応じた言語環境の整備。